

# 山弓連

平成 19年

1 2月 発行

## 9 第 22 回山梨県女子弓道大会

参加者 高校生 110 名 一般 40 名の大会でした。  
標 女子部長の矢渡しの後 5 人持ち的を高校生に見ていただきました。以下成績

高校生の部 団体 (2 4射)

優勝・北杜高校 A チーム・1 4 中

藤原嘉奈子・三井 遥・島崎加奈

2 位・巨摩高校 B チーム・1 4 中

相原英由美・小林真美・大木春奈

3 位・韮崎高校 A チーム・1 4 中

山本胡幸・手塚千尋・加藤紗由美

高校の部 個人 1 位・大木春奈 (巨摩) 7 中

2 位・相原英由美 (巨摩) 6 中

3 位・小島有香莉 (韮崎) 6 中

一般の部 個人 1 位・河西映里 6 中

2 位・古屋直子 5 中

3 位・水上梨沙 5 中

## 第 5 4 回甲州市勝沼ぶどう祭り協賛県下弓道大会

日時 10 月 1 4 日 (日) 午前 9 時開会

会場 甲州市勝沼弓道場

射候 8 射 (4 ツ矢 2 回)

成績

1 位・志村茂美 6 中 2 位・白須吉人 6 中

3 位・渡辺政宏 6 中 4 位・菱山忠夫 6 中

5 位・羽田穂高 5 中 6 位・桑原 良 5 中

7 位・雨宮 哲 5 中 8 位・古屋美穂 5 中

9 位・曾根 豊 5 中 10 位・水上梨沙 5 中

54 回記念賞 戸栗明彦

## 郡内大会 平成 19 年 10 月 28 日

季節はずれの台風が過ぎ朝から好天に恵まれ、大月市真木・福正寺境内の弓道場で郡内大会が 3 5 名の弓友で行われました。

皆さん伸び伸びと射が引けたので、的中が良く、1 2 射 5 中以上が 10 人以上でした。余興での板割の五色的を 1 廻りで割ってしまうほど好調でした。結果は以下の通りです。

矢渡し 鈴木 茂雄 第一介添 矢頭 恵造  
第二介添 小泉 昌末

射数 4 ツ矢 3 回 1 2 射

優勝 渡辺雅宏 (富士吉田) 1 0 中

2 位 不動田光熙 (上野原) 9 中

3 位 酒井 紀夫 (都留) 8 中 競射

4 位	羽田 穂高	(富士吉田)	8 中	〃
5 位	岩崎 博	(大月)	8 中	〃
6 位	斉藤 崇	(富士吉田)	8 中	〃
7 位	幡野 征司	(大月)	8 中	〃
8 位	宮下 貞雄	(上野原)	8 中	〃
9 位	小泉 昌末	(大月)	7 中	〃
1 0 位	渡辺 正樹	(富士吉田)	7 中	〃
2 0 位	坂本 致英	(富士吉田)	5 中	特別賞
3 0 位	小林 留美子	(大月)	2 中	特別賞
5 色的	赤:	小泉 黄:	高部 青:	幡野
	緑:	伊藤 黒:	竹俣	

## ねりんピック秋季大会 平成 19 年 10 月 24 日

好天に恵まれた中、身延支部の皆様のご足労のお陰様で、身延町営弓道場において全国福祉大会出場選手の壮行射会を兼ねネンリンピック秋季大会が行われました。結果は以下の通りです。

矢渡し 鈴木 茂雄 第一介添 中込 明 第二介添 市川 明

射数 (午前) 4 ツ矢 1 回 1 2 支の板割余興  
(午後) 4 ツ矢 2 回 8 射

竹村栄壽監督を初め、伊藤昇、市川明、浅野光男、飯野喜雄、千須和公代、久保寺美恵子等全国大会出場者達が日頃の練習の成果を披露した。

(久保寺さんは初出場)

優勝	小沢 重平	6 中	競射 1
2 位	標 衣枝	6 中	競射 1
3 位	鈴木 茂雄	6 中	競射 1
4 位	竹村 栄壽	5 中	競射 2
5 位	市川 明	5 中	競射 2
6 位	飯野 喜雄	5 中	競射 2
7 位	長田 長久	5 中	競射 2
8 位	立川 賢	4 中	競射 3
9 位	斉藤 美隆	4 中	競射 3
1 0 位	伊藤 昇	3 中	競射 4
1 1 位	久保寺美恵子	3 中	競射 4
1 2 位	小林 睦美	3 中	競射 4
1 3 位	千須和公代	3 中	競射 4

## 六段審査に臨んで

10 月に地元甲府で関東臨時中央審査が行われる事で私は早い時期から目標にしておりました。当日少し早い時間から巻藁調整を行いましたと思うような射が出来ずに、何とか会で呼吸を整え伸合いのある型が見出せないかという状況でした。矢渡、演武 (一ツの射礼) を二日間にわたり拝見し私にもいつかあの先生方の様に、素晴らしく、人に感動を与えられる射が出来ればーと思ひながら…巻藁練習の終わる頃に先生方の射を

思い出しながら確認し、少し会での充実が見出せたような気がして、控えに入り、私はいつもの様に立射でお願いしてあるので後ろの立の方に事情を説明し立射と座射の間合い、体配について確認をお願いして入場となり、気が付いたら早矢は的に一直線、何とか乙矢も的中しましたが内容は覚えておりません。ただ常に頭の中には冴えた弦音、的中がありました。審査が終わり合格ですよ、という声が耳に入りました。本当に合格？感謝と感激です。長年夢に描いたイメージどうりの射が少しでも実現したのです。しばらくして自身に感動しました。本当に弓道を続けて良かった。右足障害の私にも頑張る気力があれば夢がかなう事が判りました。会場を運営していただいた役員の方々、これまで指導していただいた先生方に深くお礼申し上げます。ありがとうございました。(甲府 内藤幸雄)

### 審査報告・審査部長・佐野辰巳

今回は2回行いました、結果は次のとおりです。

受審日 平成19年11月11日			
段級位	受審者数	合格者数	欠席者
査定	20	0	0
二級		0	
一級		12	
初段	16	15	
二段	12	8	
三段	6	1	
四段	2	0	
合計	56	36	0
受審日 平成19年11月25日			
段級位	受審者数	合格者数	欠席者
査定	102	0	2
二級		4	
一級		55	
初段	62	54	2
二段	17	4	4
三段	9	5	1
四段	8	1	
合計	198	123	9

11日は高校の行事があり受審者が少なかった

25日は1年生の受審者が多く良い射型の人が目に付きました。高段者は竹弓竹矢が望ましいきがします、バラバラに使用している人がいました。

### 「文武両道」～学科審査員から～

秋の県内審査で学科試験の審査員を担当しましたが、受審者の皆さんの答案を拝見して気がついたことを以下に述べます。

1、誤字・当て字が多い。 誤字(正しい字)

確任(確認)、連達(練達)、銅造り(胴造り)、心善美(真善美)、得目(徳目)、打越し(打起し)、精心力(精神力)、健康骨(肩甲骨)、姿整(姿勢)、体背(体配)、阻い(狙い)、損(揖)、第三(大三)、礼義(礼儀)、射意(射位)、規矩(規矩)、拳(拳)

弓道の専門用語で難しいと思えるものから、一般常識の範囲のものまで多岐にわたっています。弓道で使用する独特の用語は、審査が良い機会ですから教本で確認しながら覚えたいものです。

- 誤字を恐れるあまり、ひらがなを多用する。  
め手(馬手・妻手)、はず(筈)、きく(規矩)、そんきよ(蹲踞)、きざ(跪坐)、うらはず(末弭)、つるしらべ(弦調べ)、やづか(矢束)、とりゆみ(執弓)、やずりどう(矢摺籐)、いつげぶし(射付節)、クセ(癖)
- 難しい字を良く覚えたものだと感心させられるものもありました。  
項(うなじ)、脊柱(せきちゅう)、容姿凜然(ようしりんぜん)、恭敬敬愛(きょうけいけいあい)、頸椎(けいつい)、人格の陶冶(じんかくのとうや)
- 次に示す字を漢字で書いてみましょう。  
こっき( )、しせいとれいせつ( )、もとはず( )、さんみいったい( )、けいこ( )、てんもんすじ( )、つのみ( )、ゆがけ( )、なかじかけ( )、はかま( )、しんたいしゅうせんかならずれいにあたり( )、ぼんのう( )

いかがでしょうか。いくつ書けましたか？

答案を読んでいると、それぞれの道場や学校で指導者から教わった言葉をそのまま書いているものが意外に多いことに気がきます。確かに間違ったことは書いていないのですが、せっかく審査を受審するのですから、事前に教本を読んで教本の内容に沿った答えを書いて欲しいと思います。

終わりに、学科試験を勉強する意味について考えることにしましょう。「そんなものは、当然合格するためだ。」という答えが返ってきそうです。しかし、問題の選定に当たっては、「〇段程度の実力があるというためには、この位の知識は最低限必要である」「その位の心構えを持つことも必要である」という観点で出題しているのです。そう、答案にはその人の弓道に対する知識と心構えが映し出されるものなのです。